

【不祥事根絶に向けた本校の決意】

私たちは、自信を持って子どもたちの前に
立てる教職員となります！

不祥事根絶のための行動計画

福山市立久松台小学校

校長 三谷 浩子

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・点検時期
教職員意識	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理意識が低い ・研修内容の一般化 ・児童への指導の仕方 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人が課題意識を持つことができるサービス研修を行う。 ○児童に指導を行う場合は、感情的にならない工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○すべての児童・保護者・教職員に対して、サービスに係るアンケート調査を定期的に行い、課題の早期発見・早期解決とともに、教職員の意識向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各学期1回のアンケート調査を行い、集約して今後の取組に生かす。
組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の共有化が不十分 ・生徒指導に追われる 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内の動きについて細やかな連携を図り、情報を共有して指導にあたる。 ○担任が一人で抱え込まないような生徒指導体制の徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導をはじめとするあらゆる業務内容について、再度、報告・連絡・相談の徹底を図るとともに、学年主任・各部主任主事を通して、管理職へという流れを確認徹底する。 ○情報の共有化のための教育相談の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各学期1回の学級経営の反省レポートの作成及び毎月1回の全職員参加の教育相談を実施する。
相談体制	<ul style="list-style-type: none"> ・相談できる雰囲気の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ○職員間で積極的にコミュニケーションを図る。 ○些細なことでも言い合える信頼関係を築く。 ○居心地のよい職員室にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○低・中・高学年部会や二部会等の小集団で集まる機会を定期的に設け、コミュニケーションがとりやすい状況をつくり、諸問題に対する早期発見・早期解決を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学年会や二部会の開催時期について検討を行い、定期的に設定するとともに、年間行事予定に位置付ける。
業務改善	<ul style="list-style-type: none"> ・十分なチェック体制 ・業務の集中化 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分がやるべきことに責任を持ちつつ、お互いに気づかい助け合う。 ○時間的、精神的に余裕を生み出し、負担感を軽減する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体で決めたことは必ず全員がやりきり、余裕をもった締め切りの設定とともに、締め切りを厳守することで各自の業務を計画的に進めることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各部主任、主事への指導とともに、業務分担や起案時期の見直し、業務内容の縮減や統合等の業務改善を図る。